

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2020-44094 (P2020-44094A)

【公開日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【年通号数】公開・登録公報 2020-012

【出願番号】特願 2018-174544 (P2018-174544)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 17 日 (2020.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、  
 前記有利状態とは異なる状態である特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、  
 非特別状態に比べて前記特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、  
 前記有利状態に制御するかと前記特殊状態に制御するかを決定可能な決定手段と、  
 前記決定手段の決定前に判定可能な判定手段と、  
 前記判定手段の判定にもとづいて、前記特別状態の継続を示唆する第 1 示唆演出と、該第 1 示唆演出とは異なる演出態様であって前記特別状態の終了を示唆する第 2 示唆演出と、  
を 実行可能な演出実行手段と、を 備え、  
前記演出実行手段は、前記第 1 示唆演出を複数の可変表示に亘って実行可能であり、  
前記第 1 示唆演出の演出態様の数と前記第 2 示唆演出の演出態様の数とが互いに異なる  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な有利状態制御手段と、有利状態とは異なる状態である特殊状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な特殊状態制御手段と、非特別状態に比べて特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態（例えば、K T 状態）に制御可能な特別状態制御手段と、有利状態に制御するかと特殊状態に制御するかを決定可能な決定手段（例えば、CPU 103 がステップ 052 IWS 059 A や 052 IWS 064 A を実行する部分）と、決定手段の決定前に判定可能な判定手段（例えば、CPU 103 がステップ 072 IWS 045 を実行す

る部分)と、判定手段の判定(例えば、先読み判定結果)にもとづいて、特別状態の継続を示唆する第1示唆演出(例えば、小当りRUSH継続示唆演出)と、該第1示唆演出とは異なる演出態様であって特別状態の終了を示唆する第2示唆演出(例えば、小当りRUSH終了示唆演出)と、を実行可能な演出実行手段と、を備え、演出実行手段は、第1示唆演出を複数の可変表示に亘って実行可能であり(例えば、演出制御用CPU120がステップ072 IWS115を実行する部分)第1示唆演出と第2示唆演出との実行割合が互いに異なる(例えば、10R確変大当りが発生する割合(図9-5(B)に示す例では35%)と2R通常大当りが発生する割合(同例では30%)とが異なるとともに、10R確変大当りのときに小当りRUSH継続示唆演出を実行すると決定する割合(図9-47(A)に示す例では100%)と、2R通常大当りのときに小当りRUSH終了示唆演出を実行すると決定する割合(図9-47(B)に示す例では90%)とが異なること、また、小当りのときに小当りRUSH継続示唆演出を実行すると決定する割合(図9-47(C)に示す例では35%)と、小当りRUSH終了示唆演出を実行すると決定する割合(同例では30%)とが異なることによって実現される)ことを特徴とする。

そのような構成によれば、特別状態に関する遊技性の単調さを解消することができ、遊技に対する興趣を向上させることができる。